

平成 1 5 年度

流通サプライチェーン全体最適化情報基盤整備事業
(業務連携支援システム基本設計)

基本設計書

「外部インタフェース仕様書」

平成 16 年 3 月

日本電気株式会社

改版履歴

日付	版数	改版内容
2004 年 03 月 31 日	初版	新規

基本設計書作成責任者

日本電気株式会社：曾根田雄一

検印

目次

1. はじめに.....	1 - 1
2. 外部インタフェース概要.....	2 - 1
2.1 外部インタフェースの対象.....	2 - 1
2.2 外部インタフェース設計の記述範囲	2 - 3
2.2.1 インタフェース方法	2 - 3
2.2.2 インタフェース内容	2 - 3
3. 外部インタフェース一覧.....	3 - 1
3.1 データ交換業務サービスインタフェース一覧	3 - 1
3.2 受発注・入出荷・決済業務サービスインタフェース一覧	3 - 3
3.3 業務サービスインタフェース利用例	3 - 5
4. 商品マスタ交換業務サービスインタフェース.....	4 - 1
4.1 商品マスタデータ	4 - 1
5. 受発注業務サービスインタフェース.....	5 - 1
5.1 発注データ	5 - 1
5.1.1 発注データ	5 - 1
5.1.2 発注振分けデータ（本 I/F データは振分け情報が必要な時のみ使用）	5 - 4
5.2 受注回答データ.....	5 - 5
5.2.1 受注回答データ	5 - 5
5.2.2 受注回答振分けデータ（本 I/F データは振分け情報が必要な時のみ使用）	5 - 8
6. 入出荷業務サービスインタフェース.....	6 - 1
6.1 出荷予定データ.....	6 - 1
6.1.1 出荷予定データ	6 - 1
6.1.2 出荷予定振分けデータ.....	6 - 5
6.2 出荷予定変換データ	6 - 6
6.2.1 出荷予定変換データ	6 - 6
6.2.2 出荷予定変換振分けデータ	6 - 1 0
6.3 出荷結果データ.....	6 - 1 1
6.3.1 出荷結果データ	6 - 1 1
6.3.2 出荷結果振分けデータ.....	6 - 1 5
6.4 入荷予定データ.....	6 - 1 6
6.4.1 入荷予定データ	6 - 1 6

6.4.2 入荷予定振分けデータ	6 - 1 9
6.5 入荷予定変換データ	6 - 2 0
6.5.1 入荷予定変換データ	6 - 2 0
6.5.2 入荷予定変換振分けデータ	6 - 2 4
6.6 入荷結果データ	6 - 2 6
6.6.1 入荷結果データ	6 - 2 6
6.6.2 入荷結果振分けデータ	6 - 2 9
6.7 入出荷結果変換データ	6 - 3 1
6.7.1 入出荷結果変換データ	6 - 3 1
6.7.2 入出荷結果変換振分けデータ	6 - 3 4
7. 決済業務サービスインタフェース	7 - 1
7.1 売上データ	7 - 1
7.2 仕入データ	7 - 4
7.3 請求予定データ / 請求確定データ	7 - 8
7.4 支払予定データ / 支払確定データ	7 - 1 3

1. はじめに

本書は、基本設計書の一部として、ビジネスモジュールにおける「外部インタフェース」についてその外部仕様を記述したものである。

ビジネスモジュールとは、経済産業省の「平成 15 年度 流通サプライチェーン全体最適化情報基盤整備事業」の事業目的に沿って設置された SCM モデル委員会による「ビジネスプロセスモデル調査報告」に基づいて設計されているシステムである。

本書で記述される外部仕様は、ビジネスモジュール要件定義の結果を前提として設計されている。

要件定義のシステムアーキテクチャ設計により、本システムは大きく「Web 業務アプリケーション」「ビジネスプロセス制御」「通信サーバ」の部分から構成されており、さらに「ビジネスプロセス制御」を担うサーバ（以降、ビジネスモジュール基本サーバと呼称する）は自社システム（以降、既存システムと呼称する）と連携する構成となっている。

本書は、既存システムとビジネスモジュールシステム（厳密にはビジネスモジュール基本サーバ）間のインタフェースを記述するものであるが、Web 業務サーバとビジネスモジュール基本サーバ間も全く同様のインタフェースを必要とすることから併せて記述するものとする。

2. 外部インタフェース概要

2.1 外部インタフェースの対象

外部インタフェースは、前述しているが、以下の2者間のデータ交換インタフェースを規定するものである。

既存システム～ビジネスモジュール基本サーバ

Web 業務サーバ～ビジネスモジュール基本サーバ

Web 端末を介してダウンロードまたはアップロードされるファイル仕様はファイル設計で規定するものとする。(下図参照)

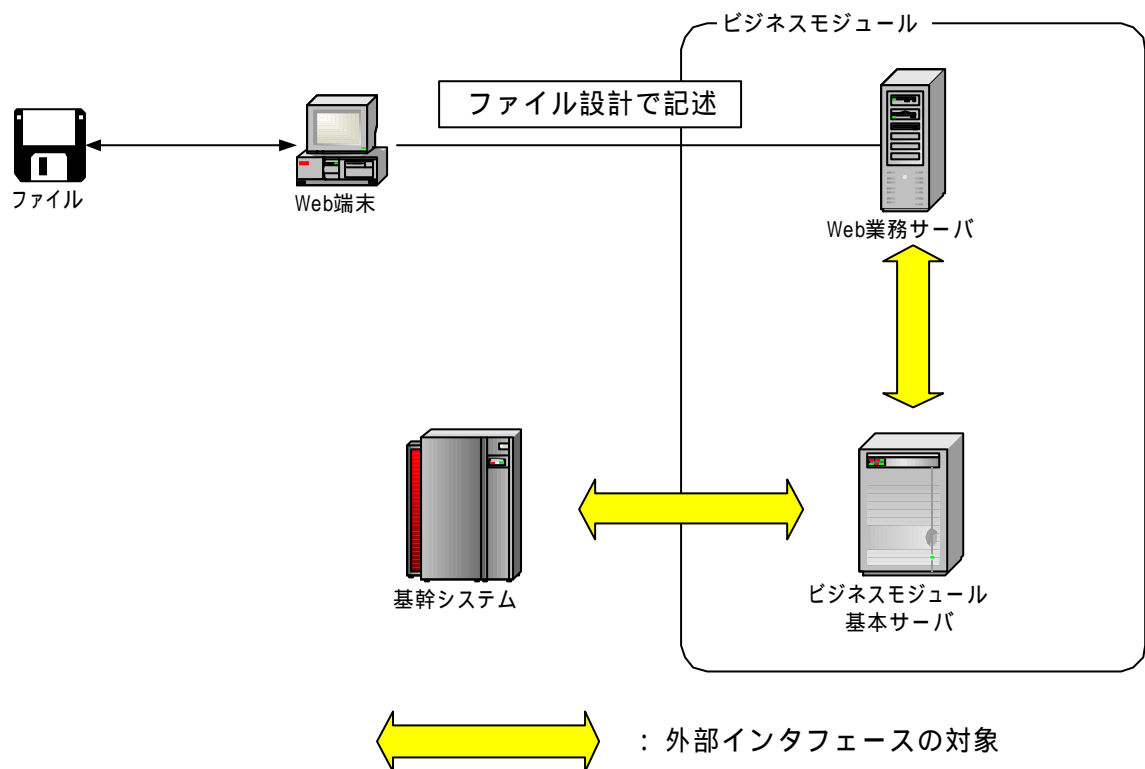


図 2.1 外部インタフェースの対象

また、本書で対象としているデータ交換業務は、基本設計書「ユースケース図及び業務フロー図」で記述している以下の業務である。

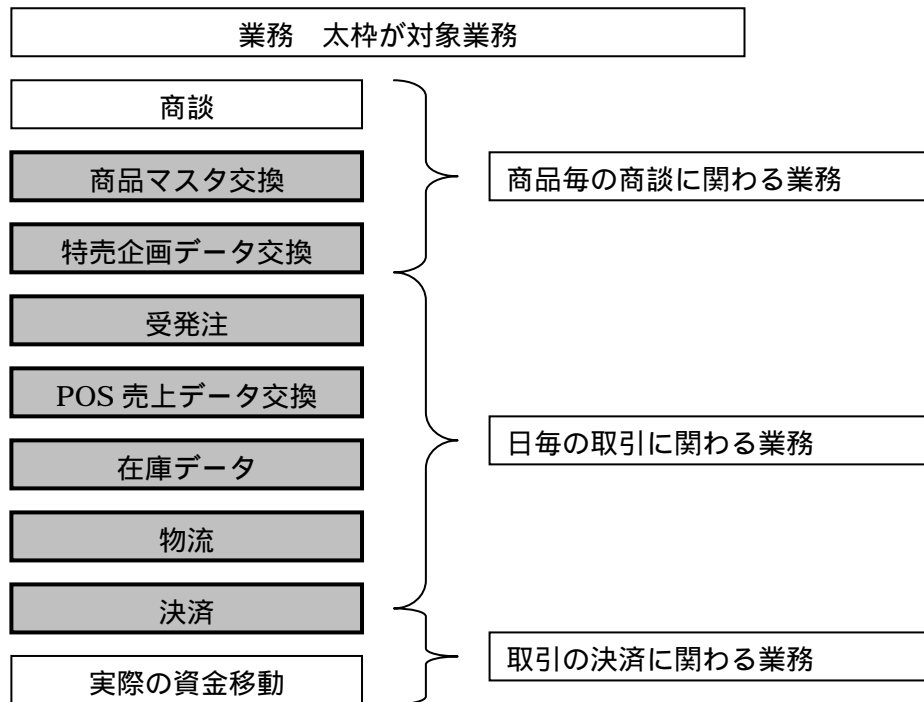


図 2.2 本書で対象としているデータ交換業務

2.2 外部インタフェース設計の記述範囲

インタフェース設計においては、インタフェース方法およびインタフェース内容を記述するのが普通であるが、本書ではインタフェース内容を主に記述するものとする。

2.2.1 インタフェース方法

いくつかのインタフェース方法が考えられる。例えば、

- ・ 引数を設定しての API コール
- ・ 規定位置にファイルを置いた後、コマンド呼び出し
- ・ WEB サービス呼び出し

現時点では、これ以上の言及はせず、稼働環境が固まってくる段階で最適なものを選ぶこととし、詳細設計フェーズに委ねるものとする。

2.2.2 インタフェース内容

2.2.2.1 データ形式

インタフェースのデータ形式は、下の 2 種類のデータ形式を想定する。

- ・ Jedicos-XML 準拠のデータ形式
- ・ CSV データ形式

2.2.2.2 交換するデータ項目

CSV 形式でインタフェースするデータ項目は、インタフェース名称の下に表形式で表示するが、各データ項目の属性や長さ（桁数や文字数）は本書では表示せず、データディクショナリを参照するものとする。（下表参照）

表 2.1 インタフェース項目表示例

（１）発注データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	発注伝票情報			
	伝票処理情報			
5	アクション要求コード			
6	発注伝票番号			
7	伝票作成年月日			

- ・ 項番 : 項目番号
- ・ データ項目 : インタフェースのデータ項目
- ・ Web 業務 I/F 項目 : Web 業務サーバ～ビジネスモジュール基本サーバ間で使用するデータ項目を定義
- ・ 既存システム I/F 項目 : 既存システム～ビジネスモジュール基本サーバ間の推奨データ項目
- ・ 備考 : 備考
- ・ 凡例 : （必須） （オプション） ×（未使用）

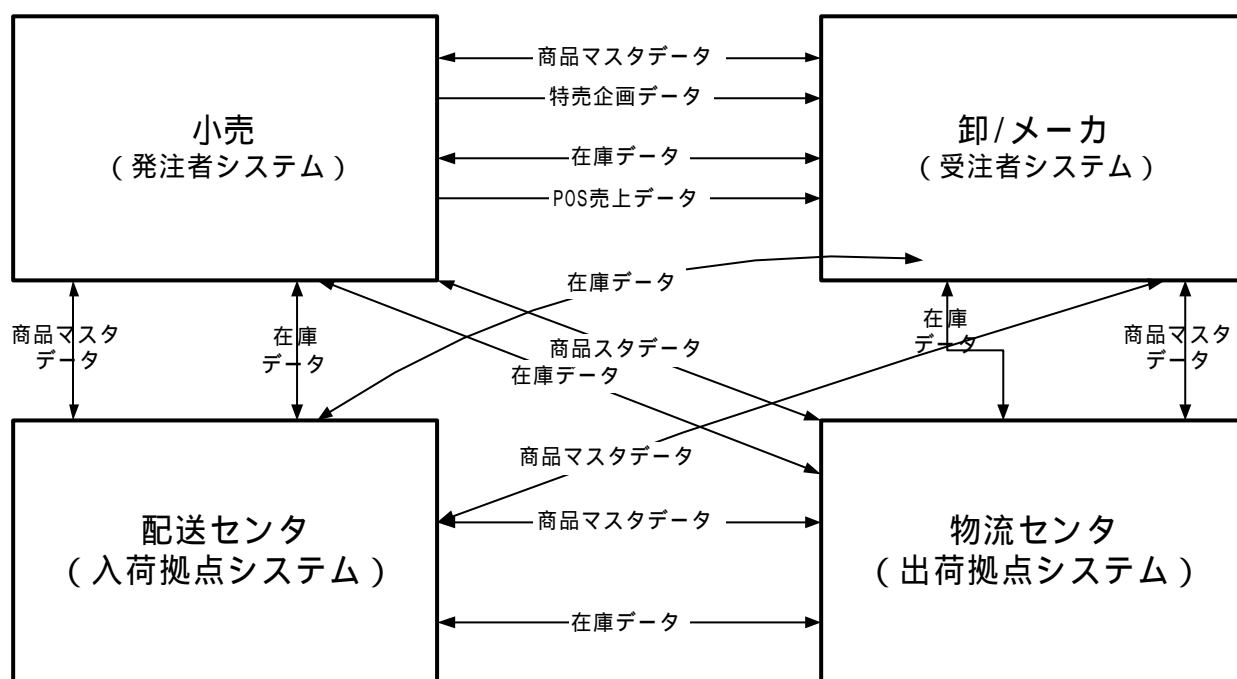
3. 外部インタフェース一覧

以下に、外部インタフェース（以降、業務サービスインタフェースと呼称する）の一覧を表示する。

3.1 データ交換業務サービスインタフェース一覧

表 3.1 データ交換業務サービスインタフェース一覧

	業務	インタフェース 名称	データ形式		J-XML 形式 アクション名	説明
			J-XML 形式	CSV 形式		
	データ 交換	商品マスタデータ			・Price/Sales Catalogue	商品マスタのデータ交換
		特売企画データ		×	・Sales Promotion Plan	特売企画のデータ交換
		在庫データ		×	・Inventory Report	在庫のデータ交換
		POS 売上データ		×	・Sales Data Report	POS 売上のデータ交換



業務サービスインタフェースは、送信タイミングもしくは受信タイミングでのインタフェースを表す

図 3.1 データ交換業務サービスインタフェース

データ形式が Jedicos-XML 準拠のデータ交換では、以下のデータ交換をすることを前提する。

- ・ 送信元の拠点 Id
- ・ 送信先の拠点 Id
- ・ 業務交換データ (Jedicos-XML メッセージのペイロードデータ構造)

Jedicos-XML 形式の業務交換データは、データ構造が明らかなため、本書ではこれ以上記述せず、CSV 形式のインタフェースについてのみ、以降、記述する。

3.2 受発注・入出荷・決済業務サービスインタフェース一覧

表 3.2 受発注・入出荷・決済業務サービスインタフェース一覧

	業務	インタフェース 名称	データ形式		J-XML 形式 アクション名	説明
			J-XML 形式	CSV 形式		
	受発注	発注データ			・Purchase Order	発注者からの、または受注者への発注情報
		受注回答データ			・Purchase Order Response	受注者からの、または発注者への受注回答
	入出荷	出荷予定データ			・Shipping Advice	受注者からの、または出荷拠点へのお荷予定情報
		入荷予定データ			・Despatch Advice Slip	発注者からの、または入荷拠点へのお荷予定情報
		出荷予定変換データ	×			出荷拠点へのお荷予定情報
		出荷結果データ			・Shipping Notice Slip ・Shipping Notice Carton	出荷拠点からの、または受注者 / 入荷拠点へのお荷結果情報
		入荷予定変換データ	×			入荷拠点へのお荷予定情報
		入荷結果データ			・Arrival Notice Slip ・Arrival Notice Carton	入荷拠点からの、または発注者 / 受注者へのお荷結果情報
		入出荷結果変換データ	×			受注者へのお荷結果情報
	決済	売上データ			・Account Advice	受注者からの、または発注者への売上情報
		仕入データ			・Purchasing Advice	発注者からの、または受注者への仕入情報
		請求予定データ			・Unconfirmed Invoice	受注者からの、または発注者への請求予定情報
		請求確定データ			・Invoice	受注者からの、または発注者への請求確定情報

	業務	インタフェース 名称	データ形式		J-XML 形式 アクション名	説明
			J-XML 形式	CSV 形式		
		支払予定データ			・Unconfirmed Remittance Advice	発注者からの、または受注者への支払予定情報
		支払確定データ			・Remittance Advice	発注者からの、または受注者への支払確定情報

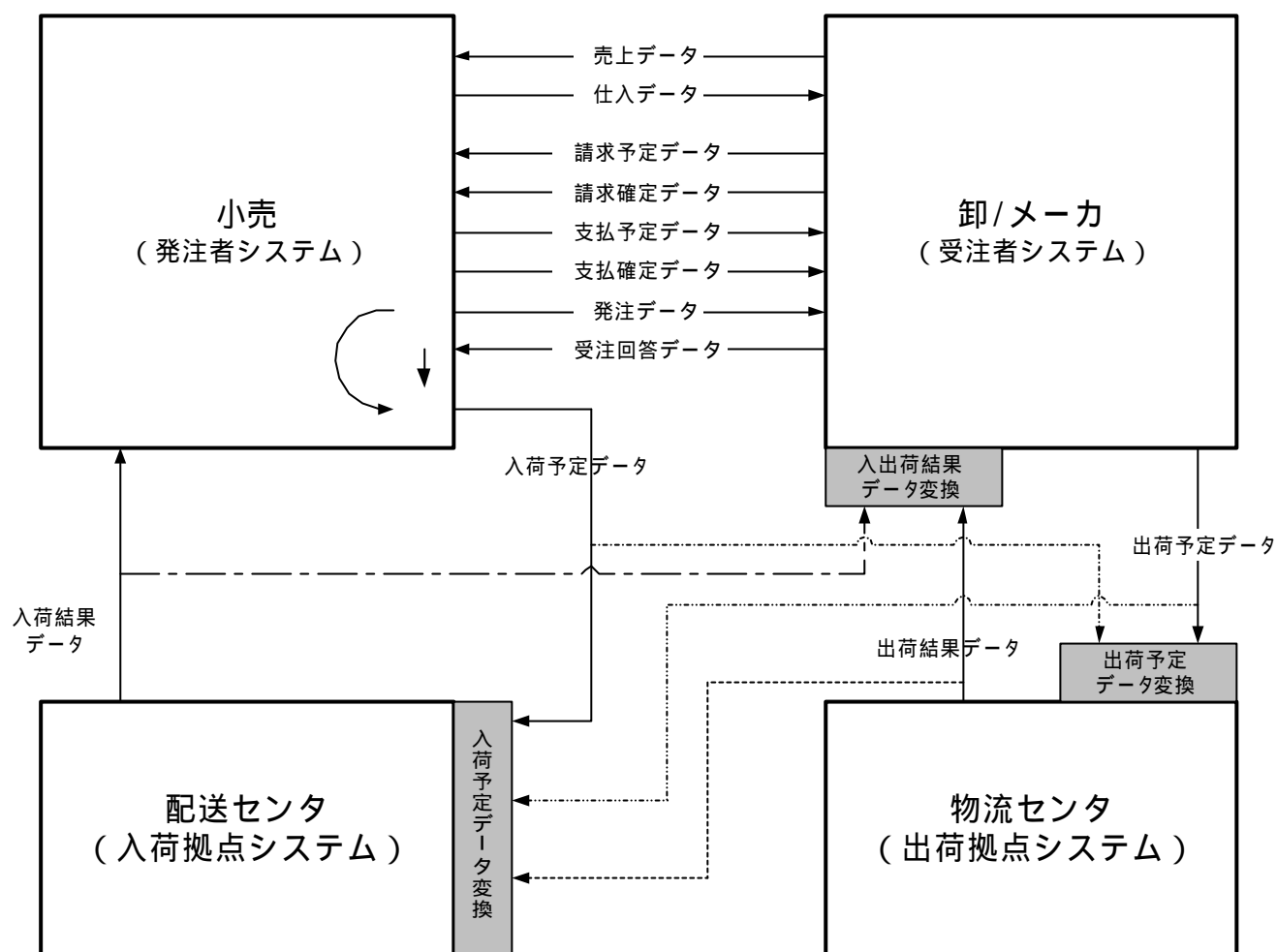


図 3 . 2 受発注・入出荷・決済業務サービスインタフェース例

業務サービスインタフェースは、送信出力もしくは受信入力インタフェースを表す

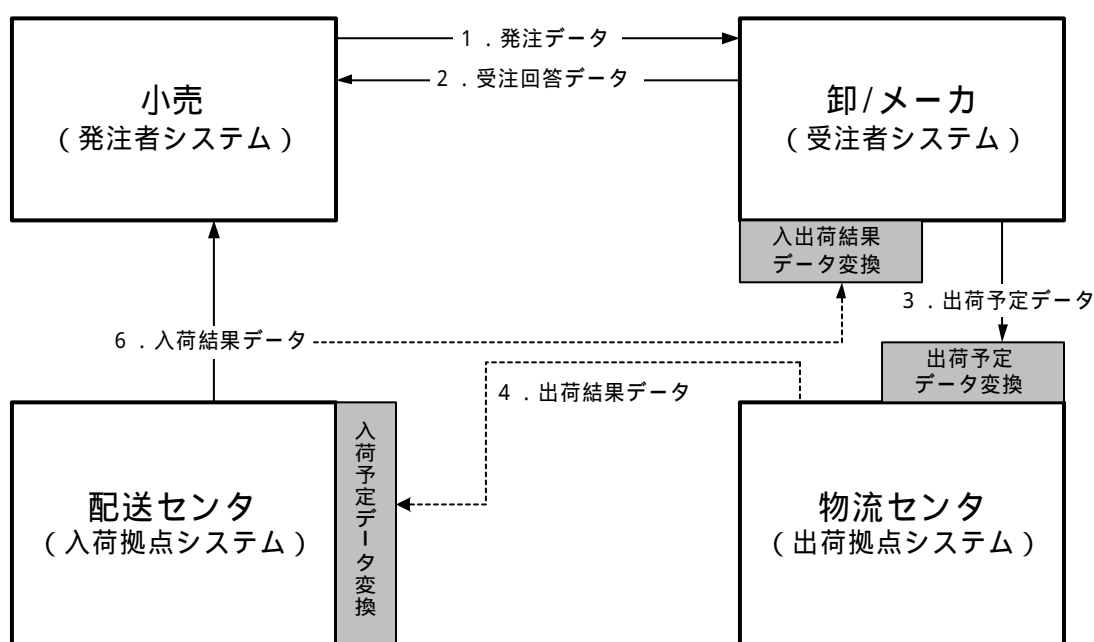
前述のように業務サービスインタフェースは、必ずしも送信側と受信側のインタフェースを同時に定義するものではない。ビジネスモジュール基本サーバがパブリックフローに則って変換する場合がある。

(上図は、必ず上記のようにデータ交換されることを示すものではなく、例を示している)

受発注・入出荷・決済業務の Jedicos-XML 形式データは、データ構造が明らかなため、これ以上記述せず、CSV 形式のインタフェースのみ、以降記述する。

3.3 業務サービスインタフェース利用例

前記業務サービスインタフェースを利用した典型的なデータ交換例を以下に示す。



網掛け：ビジネスモジュール基本サーバにて、翻訳されてデータ交換されることを示す

図 3 . 3 受発注入出荷業務の業務サービスインタフェース例

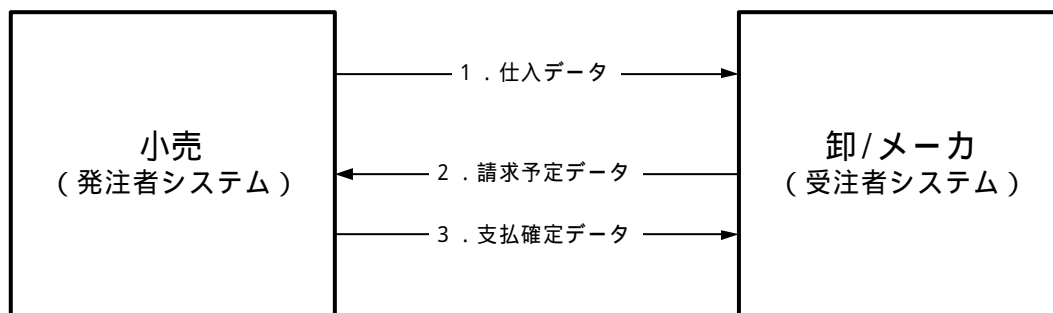


図 3 . 4 決済業務の業務サービスインタフェース例

4. 商品マスタ交換業務サービスインタフェース

4.1 商品マスタデータ

表 4.1 商品マスタデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	送信元・送信先情報			
	送信元拠点 Id			API パラメータまたはファイル名
	送信先拠点 Id			一部等何らかの方法で伝達
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	処理情報			
5	アクション要求コード			
	商品記述			
6	商品コード			
7	(商品コード区分)			GTIN コード
8	箱区分			
9	商品名漢字			
10	商品名カナ			
11	小売商品コード			
12	(商品コード区分)			小売商品コード
13	小売商品名漢字			
14	小売商品名カナ			
15	小売分類コード			
16	(商品コード区分)			小売商品分類コード
17	小売分類名漢字	×		
18	小売分類名カナ	×		
	分類			
19	JICFS 分類コード			
	仕様			
	サイズ			
20	サイズコード	()		
21	サイズ名漢字	()		

項番	データ項目		Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
22		サイズ名カナ	()		
		色			
23		色コード	()		
24		色名漢字	()		
25		色名カナ	()		
		シーズン			
26		シーズンコード	()		
		外形サイズ			
27		向き	()		
28		幅	()		
29		(計量単位)	()		
30		高さ	()		
31		(計量単位)	()		
32		奥行	()		
33		(計量単位)	()		
34		重量	()		
35		(計量単位)	()		
		フック穴位置			
36		X 方向	×		
37		(計量単位)	×		
38		Y 方向	×		
39		(計量単位)	×		
40		容量	()		
41		(計量単位)	()		
		容器形態			
42		容器形態コード	()		
43		容器形態コード名称	()		
		原産国			
44		国コード	×		
45		国名漢字	×		
46		国名カナ	×		
47		国産輸入区分	()		
		輸入国			

項番	データ項目		Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
48		国コード	×		
49		国名漢字	×		
50		国名カナ	×		
		生産企業			
51		企業コード			
52		企業コードタイプ			
53		企業名漢字			
54		企業名カナ			
		生産工場			
55		生産工場コード	×		
56		生産工場名漢字	×		
57		生産工場名カナ	×		
58		賞味期間	()		
59		(期間単位)	()		
		保存方法			
60		保存方法コード	()		
61		保存方法名	()		
		表示添加物			
62		添加物コード	×		
63		添加物名	×		
		内訳商品			
64		商品コード			
65		(商品コードタイプ)			
66		入数			
		販売情報			
		レシート			
67		レシート名漢字			
68		レシート名カナ			
69		メーカー希望小売価格			
70		(オープンフラグ)			
71		税率			
72		(税区分)			
73		売単価			
74		税込売単価			Jedicos-XML に追加を要望
75		特価 1 売単価			Jedicos-XML に追加を要望

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
76	税込特価 1 売単価			Jedicos-XML に追加を要望
	購買情報			
77	基準在庫	×		
78	発注点	×		
	発注条件			
79	発注開始年月日			
80	発注終了年月日			
81	リードタイム			
82	受入期限	×		
83	直送時リードタイム	×		
84	直送基準数	×		
85	納品予定期間開始年月日			
86	納品予定期間終了年月日			
87	自動発注区分	×		
	取引単位			
88	発注単位数			
89	発注単位入数			
90	最小発注数量			
91	最大発注数量			
	原価情報			
92	仕入原価区分			「定番」区分、J-XML に追加要望
93	原単価			
94	原単価算出区分			
95	原価率			
96	仕入原価区分			「特価 1」区分、J-XML に追加要望
97	原単価			
98	原単価算出区分			
99	原価率			
	コメント			
100	コメントタイトル			Web : 「商品コメント」既定表題
101	コメント内容			

(注) () 表示は、JICFS-DB から商品データ項目を埋めた場合

5. 受発注業務サービスインタフェース

5.1 発注データ

5.1.1 発注データ

表 5.1 発注データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
5	受注拠点 Id			Web : 発注企業、店舗、受注企業
6	受注拠点 Id タイプ			から決まる関係に限定
	伝票処理情報			
7	アクション要求コード			
	発注伝票情報			
8	発注伝票番号			
9	伝票作成年月日			
10	発注年月日			
11	発注時間			
12	伝票有効年月日	×		
13	納品指定年月日			
14	希望納品時刻	×		
	発注伝票合計情報			
15	売価金額合計			
16	原価金額合計			
17	税額合計金額			
18	発注数量合計			
	発注伝票コメント			
19	コメントタイトル	×		
20	コメント内容	×		
	管理番号			
21	発注管理番号			
	伝票区分情報			
22	伝票区分			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
23	発注入力識別			
24	便区分			
25	仕入区分			
26	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
27	本部集計コード	×		
28	本部集計名称	×		
	店舗情報			
29	店舗コード			既存システム：振分リスト使用時不用
30	店舗コードタイプ			
31	店舗コード名称			
32	店舗名漢字			
33	店舗名カナ			
	部署情報			
34	部署コード			
35	部署コードタイプ			
36	部署コード名称			
37	部署名漢字			
38	部署名カナ			
	担当者			
39	担当者 ID			
40	担当者名漢字			
41	担当者名カナ			
	連絡先			
42	連絡先タイプ			
43	連絡先番号			
	納品先情報			
44	納品先コード			
45	納品先コードタイプ			
46	納品先コード名称			
47	納品先名漢字			
48	納品先名カナ			
49	顧客名漢字	×		
50	顧客名カナ	×		
	連絡先			
51	連絡先タイプ	×		

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
52	連絡先番号	×		
	発注伝票明細			
53	発注伝票行番号			
	商品記述			
54	商品コード			
55	(商品コードタイプ)			
56	商品名漢字			
57	商品名カナ			
58	小売商品コード			
59	(商品コードタイプ)			
60	小売商品名漢字			
61	小売商品名カナ			
62	小売商品分類コード			
63	(商品コードタイプ)			
64	小売商品分類名漢字			
65	小売商品分類名カナ			
	原価情報			
66	原単価			
67	原価算出区分			
68	原価率			
	売価情報			
69	売単価			
	税率			
70	税率			
71	(税区分)			
	発注数量情報			
72	発注数量			
73	発注単位数			
74	発注単位入数			

5.1.2 発注振分けデータ（本 I/F データは振分け情報が必要な時のみ使用）

表 5.2 発注振分けデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	発注伝票情報			
1	発注伝票番号	×		
2	発注年月日	×		
	発注伝票明細情報			
3	発注伝票行番号	×		
	振分け情報			
4	プロファイル ID	×		
	振分け先情報			
5	振分け先 ID	×		
6	数量	×		

発注データと発注振分けデータの紐付けは、ここでは既定しないが、
具体的には以下のような方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1つのCSV形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

5.2 受注回答データ

5.2.1 受注回答データ

表 5.3 受注回答データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	伝票処理情報			
5	アクション要求コード			Web：発注データを継承
	発注伝票情報			
6	発注伝票番号			
7	伝票作成年月日			
8	発注年月日			
9	発注時間			
10	納品指定年月日			
	発注伝票コメント			
11	コメントタイトル	×		
12	コメント内容	×		
	受注伝票情報			Jedicos-XML に追加を要望
13	受注伝票番号			Web：発注伝票番号をセット
14	伝票作成年月日			
15	受注年月日			Web：受注確認年月日
	結果			
16	結果コード			Web：受理のみ
17	結果コメント	×		
	受注伝票合計情報			
18	売価金額合計			
19	原価金額合計			
20	受注数量合計			
21	税額合計			
	受注伝票コメント			
22	コメントタイトル	×		

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
23	コメント内容	×		
	管理番号			
24	発注管理番号			Web：発注データを継承
25	受注管理番号	×		
26	到着予定年月日	×		
27	納品予定年月日	×		納品年月日を受注側で設定時
	伝票区分情報			Web：発注データを継承
28	伝票区分			
29	発注入力識別			
30	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
31	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
	店舗情報			
32	店舗コード			既存システム：振分リスト使用時不用
33	店舗コードタイプ			
34	店舗コード名称			
35	店舗名漢字			
36	店舗名カナ			
	部署情報			
37	部署コード			
38	部署コードタイプ			
39	部署コード名称			
40	部署名漢字			
41	部署名カナ			
	担当者			
42	担当者 ID			
43	担当者名漢字			
44	担当者名カナ			
	連絡先			
45	連絡先タイプ			
46	連絡先番号			
	納品先情報			Web：発注データを継承
47	納品先コード			
48	納品先コードタイプ			
49	納品先コード名称			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
50	納品先名漢字			
51	納品先名カナ			
52	顧客名漢字	×		
53	顧客名カナ	×		
	連絡先			
54	連絡先タイプ	×		
55	連絡先番号	×		
	伝票明細			
	発注伝票明細			
56	発注伝票行番号			
	商品記述			
57	商品コード			
58	(商品コードタイプ)			
59	商品名漢字			
60	商品名カナ			
61	小売商品コード	×		Web：折返しなので削除
62	(商品コードタイプ)	×		
63	小売商品名漢字	×		
64	小売商品名カナ	×		
65	小売商品分類コード	×		
66	(商品コードタイプ)	×		
67	小売商品分類名漢字	×		
68	小売商品分類名カナ	×		
	原価情報			
69	原単価			
70	原価算出区分			
71	原価率			
	売価情報			
72	売単価			
	税率			
73	税率			
74	(税区分)			
	発注数量情報			
75	発注数量			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
76	発注単位数			
77	発注単位入数			
	受注伝票明細			Jedicos-XML に追加を要望
78	受注伝票行番号			Web：発注伝票行番号をセット
	受注数量情報			
79	受注数量			論理在庫から受注数量をセット
	受注欠品情報			
80	欠品区分			欠品事由

5.2.2 受注回答振分けデータ（本 I/F データは振分け情報が必要な時のみ使用）

表 5.4 受注回答振分けデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	発注伝票情報			
1	発注伝票番号	×		
2	発注年月日	×		
	発注伝票明細情報			
3	発注伝票行番号	×		
	振分け情報			
4	プロファイル ID	×		
	振分け先情報			
5	振分け先 ID	×		
6	数量	×		

受注回答振分けデータを使用する場合は、欠品発生はないものとする。
 受注回答データと受注回答振分けデータの紐付けは、ここでは既定
 しないが、具体的には以下のような方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1つのCSV形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

6. 入出荷業務サービスインタフェース

6.1 出荷予定データ

6.1.1 出荷予定データ

表 6.1 出荷予定データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	伝票処理情報			
5	アクション要求コード			Web：発注データを継承
	発注伝票情報			
6	発注伝票番号			
7	伝票作成年月日			
8	発注年月日			
9	発注時間			
10	納品指定年月日			
	発注伝票合計情報			
11	売価金額合計			
12	原価金額合計			
13	税額合計金額			
14	発注数量合計			
	発注伝票コメント			
15	コメントタイトル	×		
16	コメント内容	×		
	受注伝票情報			受注回答あり時、J-XML 追加要望
17	受注伝票番号			Web：発注伝票番号
18	伝票作成年月日			
19	受注年月日			Web：受注確認年月日
	結果			
20	結果コード			Web：受理のみ
21	結果コメント	×		

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	受注伝票合計情報			
22	売価金額合計			
23	原価金額合計			
24	受注数量合計			
25	税額合計			
	受注伝票コメント			
26	コメントタイトル	×		
27	コメント内容	×		
	管理番号			
28	発注管理番号			
29	受注管理番号	×		
30	到着予定年月日	×		
31	納品予定年月日	×		納品年月日を受注側で設定時
	伝票区分情報			Web：発注データを継承
32	伝票区分			
33	発注入力識別			
34	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
35	仕入区分			Jedicos-XML に追加を要望
36	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
37	本部集計コード	×		
38	本部集計名称	×		
	店舗情報			
39	店舗コード			既存システム：振分リスト使用時不用
40	店舗コードタイプ			
41	店舗コード名称			
42	店舗名漢字			
43	店舗名カナ			
	部署情報			
44	部署コード			
45	部署コードタイプ			
46	部署コード名称			
47	部署名漢字			
48	部署名カナ			
	担当者			

項番	データ項目		Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
49		担当者 ID			
50		担当者名漢字			
51		担当者名カナ			
		連絡先			
52		連絡先タイプ			
53		連絡先番号			
	納品先情報				Web：発注データを継承
54	納品先コード				
55	納品先コードタイプ				
56	納品先コード名称				
57	納品先名漢字				
58	納品先名カナ				
59	顧客名漢字		×		
60	顧客名カナ		×		
		連絡先			
61		連絡先タイプ	×		
62		連絡先番号	×		
	伝票明細				
	発注伝票明細				
63	発注伝票行番号				
	商品記述				
64	商品コード				
65	(商品コードタイプ)				
66	商品名漢字				
67	商品名カナ				
68	小売商品コード				
69	(商品コードタイプ)				
70	小売商品名漢字				
71	小売商品名カナ				
72	小売商品分類コード				
73	(商品コードタイプ)				
74	小売商品分類名漢字				
75	小売商品分類名カナ				
	原価情報				

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
76	原単価			
77	原価算出区分			
78	原価率			
	売価情報			
79	売単価			
	税率			
80	税率			
81	(税区分)			
	発注数量情報			
82	発注数量			
83	発注単位数			
84	発注単位入数			
	受注伝票明細			受注回答あり時、J-XML 追加要望
85	受注伝票行番号			Web : 発注伝票行番号
	受注数量情報			
86	受注数量			
	受注欠品情報			
87	欠品区分			欠品事由

6.1.2 出荷予定振分けデータ

表 6.2 出荷予定振分けデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	発注伝票情報			
1	発注伝票番号	×		
2	発注年月日	×		
	発注伝票明細情報			
3	発注伝票行番号	×		
	振分け情報			
4	プロファイル ID	×		
	振分け先情報			
5	振分け先 ID	×		
6	数量	×		

出荷予定振分けデータを使用する場合は、欠品発生はないものとする。
 出荷予定データと出荷予定振分けデータの紐付けは、ここでは既定しないが、具体的には以下のような方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1つのCSV形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

6.2 出荷予定変換データ

6.2.1 出荷予定変換データ

表 6.3 出荷予定変換データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	伝票処理情報			(Web : 発注データを継承)
5	アクション要求コード			出荷予定 or 入荷予定の要求コード
	発注伝票情報			
6	発注伝票番号			
7	伝票作成年月日			
8	発注年月日			
9	発注時間			
10	伝票有効年月日	×		
11	納品指定年月日			
12	希望納品時刻	×		
	発注伝票合計情報			
13	売価金額合計			
14	原価金額合計			
15	税額合計金額			
16	発注数量合計			
	発注伝票コメント			
17	コメントタイトル	×		
18	コメント内容	×		
	受注伝票情報			受注回答あり時、J-XML 追加要望
19	受注伝票番号			Web : 発注伝票番号
20	伝票作成年月日			
21	受注年月日			Web : 受注確認年月日
	結果			
21	結果コード			Web : 受理のみ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
22	結果コメント	×		
	受注伝票合計情報			
23	売価金額合計			
24	原価金額合計			
25	受注数量合計			
26	税額合計			
	受注伝票コメント			
27	コメントタイトル	×		
28	コメント内容	×		
	管理番号			
29	発注管理番号			
30	受注管理番号	×		
31	到着予定年月日	×		
32	納品予定年月日	×		納品年月日を受注側で設定時
	伝票区分情報			Web：発注データを継承
33	伝票区分			
34	発注入力識別			
35	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
36	仕入区分			Jedicos-XML に追加を要望
37	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
38	本部集計コード	×		
39	本部集計名称	×		
	店舗情報			
40	店舗コード			既存システム：振分リスト使用時不用
41	店舗コードタイプ			
42	店舗名漢字			
43	店舗名カナ			
	部署情報			
44	部署コード			
45	部署コードタイプ			
	部署コード名称	×	×	
46	部署名漢字			
47	部署名カナ			
	担当者			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
48	担当者 ID			
49	担当者名漢字			
50	担当者名カナ			
	連絡先			
51	連絡先タイプ			
52	連絡先番号			
	納品先情報			Web：発注データを継承
53	納品先コード			
54	納品先コードタイプ			
55	納品先名漢字			
56	納品先名カナ			
57	顧客名漢字	×		
58	顧客名カナ	×		
	連絡先			
59	連絡先タイプ	×		
60	連絡先番号	×		
	伝票明細			
	発注伝票明細			
61	発注伝票行番号			
	商品記述			
62	商品コード			
63	(商品コードタイプ)			
64	商品名漢字			
65	商品名カナ			
66	小売商品コード			
67	(商品コードタイプ)			
68	小売商品名漢字			
69	小売商品名カナ			
70	小売商品分類コード			
71	(商品コードタイプ)			
72	小売商品分類名漢字			
73	小売商品分類名カナ			
	原価情報			
74	原単価			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
75	原価算出区分			
76	原価率			
	売価情報			
77	売単価			
	税率			
78	税率			
79	(税区分)			
	発注数量情報			
80	発注数量			
81	発注単位数			
82	発注単位入数			
	受注伝票明細			受注回答あり時、J-XML 追加要望
83	受注伝票行番号			Web : 発注伝票行番号
	受注数量情報			
84	受注数量			
	受注欠品情報			
85	欠品区分			欠品事由

6.2.2 出荷予定変換振分けデータ

表 6.4 出荷予定変換振分けデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	発注伝票情報			
1	発注伝票番号	×		
2	発注年月日	×		
	発注伝票明細情報			
3	発注伝票行番号	×		
	振分け情報			
4	プロファイル ID	×		
	振分け先情報			
5	振分け先 ID	×		
6	数量	×		

出荷予定変換振分けデータを使用する場合は、欠品発生はないものとする。

出荷予定データと出荷予定振分けデータの紐付けは、ここでは既定しないが、具体的には以下のような方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1つのCSV形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

6.3 出荷結果データ

6.3.1 出荷結果データ

表 6.5 出荷結果データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	梱包情報			
5	カゴ車 NO	×		
	出荷梱包情報			
6	出荷個口数			
7	出荷総梱数			
	梱包明細情報			
8	梱包番号			
	伝票処理情報			
9	アクション要求コード			
	発注伝票情報			
10	発注伝票番号			
11	伝票作成年月日			
12	発注年月日			
13	発注時間			
14	伝票有効年月日	×		
15	納品指定年月日			
16	希望納品時刻	×		
	発注伝票合計情報			
17	売価金額合計			
18	原価金額合計			
19	税額合計金額			
20	発注数量合計			
	発注伝票コメント			
21	コメントタイトル	×		
22	コメント内容	×		

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	受注伝票情報			受注回答あり時、J-XML 追加要望
23	受注伝票番号			Web：発注伝票番号
24	伝票作成年月日			
25	受注年月日			Web：受注確認年月日
	結果			
26	結果コード			Web：受理のみ
27	結果コメント	×		
	受注伝票合計情報			
28	売価金額合計			
29	原価金額合計			
30	受注数量合計			
31	税額合計			
	受注伝票コメント			
32	コメントタイトル	×		
33	コメント内容	×		
	納品伝票情報			出荷結果を加味できた場合のみ
34	納品伝票番号			
35	伝票作成年月日			
36	出荷年月日			Web：出荷年月日
	納品伝票合計情報			
37	売価金額合計			
38	原価金額合計			
39	納品数量合計			
40	税額合計			
	納品伝票コメント			
41	コメントタイトル	×		
42	コメント内容	×		
	管理番号情報			
43	発注管理番号			
44	受注管理番号	×		
45	到着予定年月日	×		
46	納品予定年月日	×		納品年月日を受注側で設定時

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	伝票区分情報			Web：発注データを継承
47	伝票区分			
48	発注入力識別			
49	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
50	仕入区分			Jedicos-XML に追加を要望
51	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
52	本部集計コード	×		
53	本部集計名称	×		
	店舗情報			
54	店舗コード			既存システム：振分リスト使用時不用
55	店舗コードタイプ			
56	店舗コード名称			
57	店舗名漢字			
58	店舗名カナ			
	部署情報			
59	部署コード			
60	部署コードタイプ			
61	部署コード名称			
62	部署名漢字			
63	部署名カナ			
	担当者			
64	担当者 ID			
65	担当者名漢字			
66	担当者名カナ			
	連絡先			
67	連絡先タイプ			
68	連絡先番号			
	納品先情報			Web：発注データを継承
69	納品先コード			
70	納品先コードタイプ			
71	納品先コード名称			
72	納品先名漢字			
73	納品先名カナ			
74	顧客名漢字	×		
75	顧客名カナ	×		

項番	データ項目		Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
		連絡先			
32		連絡先タイプ	×		
33		連絡先番号	×		
	伝票明細				
	発注伝票明細				
75		発注伝票行番号			
	商品記述				
79		商品コード			
80		(商品コードタイプ)			
81		商品名漢字			
82		商品名カナ			
83		小売商品コード			
84		(商品コードタイプ)			
85		小売商品名漢字			
86		小売商品名カナ			
	原価情報				
87		原単価			
88		原価算出区分			
89		原価率			
	売価情報				
90		売単価			
	税率				
91		税率			
92		(税区分)			
	発注数量情報				
93		発注数量			
94		発注単位数			
95		発注単位入数			
	受注伝票明細				受注回答あり時、J-XML 追加要望
96		受注伝票行番号			Web : 発注伝票行番号
	受注数量情報				
97		受注数量			
	受注欠品情報				

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
98	欠品区分			欠品事由
	納品伝票明細			出荷結果を加味できた場合のみ
99	納品伝票行番号			Web：発注伝票行番号
	納品数量情報			
100	納品数量			出荷数量
	納品欠品情報			
101	欠品区分			欠品事由

6.3.2 出荷結果振分けデータ

表 6.6 出荷結果振分けデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 項目	備考
	発注伝票情報			
1	発注伝票番号	×		
2	発注年月日	×		
	発注伝票明細情報			
3	発注伝票行番号	×		
	振分け情報			
4	プロファイル ID	×		
	振分け先情報			
5	振分け先 ID	×		
6	数量	×		

出荷結果振分けデータを使用する場合は、欠品発生はないものとする。
 出荷結果データと出荷結果振分けデータの紐付けは、ここでは既定しないが、具体的には以下のような方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1つのCSV形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

6.4 入荷予定データ

6.4.1 入荷予定データ

表 6.7 入荷予定データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	伝票処理情報			Web：発注データを継承
5	アクション要求コード			
	発注伝票情報			
6	発注伝票番号			
7	伝票作成年月日			
8	発注年月日			
9	発注時間			
10	伝票有効年月日	×		
11	納品指定年月日			
12	希望納品時刻	×		
	発注伝票合計情報			
13	売価金額合計			
14	原価金額合計			
15	税額合計金額			
16	発注数量合計			
	発注伝票コメント			
17	コメントタイトル	×		
18	コメント内容	×		
	受注伝票情報			受注回答あり時、J-XML 追加要望
19	受注伝票番号			Web：発注伝票番号
20	伝票作成年月日			
21	受注年月日			Web：受注確認年月日
	結果			
21	結果コード			Web：受理のみ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
22	結果コメント	×		
	受注伝票合計情報			
23	売価金額合計			
24	原価金額合計			
25	受注数量合計			
26	税額合計			
	受注伝票コメント			
27	コメントタイトル	×		
28	コメント内容	×		
	管理番号			
29	発注管理番号			
30	受注管理番号	×		
31	到着予定年月日	×		
32	納品予定年月日	×		納品年月日を受注側で設定時
	伝票区分情報			Web：発注データを継承
33	伝票区分			
34	発注入力識別			
35	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
36	仕入区分			Jedicos-XML に追加を要望
37	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
38	本部集計コード	×		
39	本部集計名称	×		
	店舗情報			
40	店舗コード			既存システム：振分リスト使用時不用
41	店舗コードタイプ			
42	店舗名漢字			
43	店舗名カナ			
	部署情報			
44	部署コード			
45	部署コードタイプ			
	部署コード名称	×	×	
46	部署名漢字			
47	部署名カナ			
	担当者			

項番	データ項目		Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
48		担当者 ID			
49		担当者名漢字			
50		担当者名カナ			
		連絡先			
51		連絡先タイプ			
52		連絡先番号			
	納品先情報				Web：発注データを継承
53	納品先コード				
54	納品先コードタイプ				
55	納品先名漢字				
56	納品先名カナ				
57	顧客名漢字		×		
58	顧客名カナ		×		
		連絡先			
59		連絡先タイプ	×		
60		連絡先番号	×		
	伝票明細				
	発注伝票明細				
61	発注伝票行番号				
	商品記述				
62	商品コード				
63	(商品コードタイプ)				
64	商品名漢字				
65	商品名カナ				
66	小売商品コード				
67	(商品コードタイプ)				
68	小売商品名漢字				
69	小売商品名カナ				
70	小売商品分類コード				
71	(商品コードタイプ)				
72	小売商品分類名漢字				
73	小売商品分類名カナ				
	原価情報				
74	原単価				

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
75	原価算出区分			
76	原価率			
	売価情報			
77	売単価			
	税率			
78	税率			
79	(税区分)			
	発注数量情報			
80	発注数量			
81	発注单位数			
82	発注单位入数			
	受注伝票明細			受注回答あり時、J-XML 追加要望
83	受注伝票行番号			Web : 発注伝票行番号
	受注数量情報			
84	受注数量			
	受注欠品情報			
85	欠品区分			欠品事由

6.4.2 入荷予定振分けデータ

表 6.8 入荷予定振分けデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 項目	備考
	発注伝票情報			
1	発注伝票番号	×		
2	発注年月日	×		
	発注伝票明細情報			
3	発注伝票行番号	×		
	振分け情報			
4	プロファイル ID	×		
	振分け先情報			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 項目	備考
5	振分け先 ID	×		
6	数量	×		

入荷予定振分けデータを使用する場合は、欠品発生はないものとする。
入荷予定データと入荷予定振分けデータの紐付けは、ここでは既定
しないが、具体的には以下のような方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1つのCSV形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

6.5 入荷予定変換データ

6.5.1 入荷予定変換データ

表 6.9 入荷予定変換データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	梱包情報			
5	カゴ車 NO	×		
	入荷梱包情報			
6	出荷個口数			
7	出荷総梱数			
	梱包明細情報			
8	梱包番号			
	伝票処理情報			
9	アクション要求コード			
	発注伝票情報			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
10	発注伝票番号			
11	伝票作成年月日			
12	発注年月日			
13	発注時間			
14	伝票有効年月日	×		
15	納品指定年月日			
16	希望納品時刻	×		
	発注伝票合計情報			
17	売価金額合計			
18	原価金額合計			
19	税額合計金額			
20	発注数量合計			
	発注伝票コメント			
21	コメントタイトル	×		
22	コメント内容	×		
	受注伝票情報			受注回答あり時、J-XML 追加要 望
23	受注伝票番号			Web：発注伝票番号
24	伝票作成年月日			
25	受注年月日			Web：受注確認年月日
	結果			
26	結果コード			Web：受理のみ
27	結果コメント	×		
	受注伝票合計情報			
28	売価金額合計			
29	原価金額合計			
30	受注数量合計			
31	税額合計			
	受注伝票コメント			
32	コメントタイトル	×		
33	コメント内容	×		
	納品伝票情報			出荷結果を加味できた場合の み
34	納品伝票番号			Web：発注伝票番号

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
35	伝票作成年月日			
36	出荷年月日			Web：出荷年月日
	納品伝票合計情報			
37	売価金額合計			
38	原価金額合計			
39	納品数量合計			
40	税額合計			
	納品伝票コメント			
41	コメントタイトル	×		
42	コメント内容	×		
	管理番号			
43	発注管理番号			
44	受注管理番号	×		
45	到着予定年月日	×		
46	納品予定年月日	×		納品年月日を受注側で設定時
	伝票区分情報			Web：発注データを継承
47	伝票区分			
48	発注入力識別			
49	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
50	仕入区分			Jedicos-XML に追加を要望
51	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
52	本部集計コード	×		
53	本部集計名称	×		
	店舗情報			
54	店舗コード			既存システム：振分リスト使用時不用
55	店舗コードタイプ			
56	店舗コード名称			
57	店舗名漢字			
58	店舗名カナ			
	部署情報			
59	部署コード			
60	部署コードタイプ			
61	部署コード名称			
62	部署名漢字			

項番	データ項目		Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
63		部署名カナ			
		担当者			
64		担当者 ID			
65		担当者名漢字			
66		担当者名カナ			
		連絡先			
67		連絡先タイプ			
68		連絡先番号			
	納品先情報				Web：発注データを継承
69	納品先コード				
70	納品先コードタイプ				
71	納品先コード名称				
72	納品先名漢字				
73	納品先名カナ				
74	顧客名漢字		×		
75	顧客名カナ		×		
		連絡先			
76		連絡先タイプ	×		
77		連絡先番号	×		
	伝票明細				
	発注伝票明細				
78	発注伝票行番号				
	商品記述				
79	商品コード				
80	(商品コードタイプ)				
81	商品名漢字				
82	商品名カナ				
83	小売商品コード				
84	(商品コードタイプ)				
85	小売商品名漢字				
86	小売商品名カナ				
	原価情報				
87	原単価				
88	原価算出区分				

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
89	原価率			
	売価情報			
90	売単価			
	税率			
91	税率			
92	(税区分)			
	発注数量情報			
93	発注数量			
94	発注単位数			
95	発注単位入数			
	受注伝票明細			受注回答あり時、J-XML 追加要望
96	受注伝票行番号			Web：発注伝票行番号
	受注数量情報			
97	受注数量			
	受注欠品情報			
98	欠品区分			欠品事由
	納品伝票明細			出荷結果を加味できた場合
99	納品伝票行番号			Web：発注伝票行番号
	納品数量情報			
100	納品数量			出荷数量
	納品欠品情報			
101	欠品区分			欠品事由

6.5.2 入荷予定変換振分けデータ

表 6.10 入荷予定変換振分けデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 項目	備考
	発注伝票情報			
1	発注伝票番号	×		
2	発注年月日	×		
	発注伝票明細情報			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 項目	備考
3	発注伝票行番号	×		
	振分け情報			
4	プロファイル ID	×		
	振分け先情報			
5	振分け先 ID	×		
6	数量	×		

入荷予定変換振分けデータを使用する場合は、欠品発生はないものとする。

入荷予定変換データと入荷予定変換振分けデータの紐付けは、ここでは既定しないが、具体的には以下のような方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1つのCSV形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

6.6 入荷結果データ

6.6.1 入荷結果データ

表 6.1 1 入荷結果データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	梱包情報			
5	カゴ車 NO	×		
	入荷梱包情報			
6	入荷個口数			
7	入荷総梱数			
	梱包明細情報			
8	梱包番号			
	伝票処理情報			
9	アクション要求コード			
	発注伝票情報			
10	発注伝票番号			
11	伝票作成年月日			
12	発注年月日			
13	納品指定年月日			
	受注伝票情報			受注回答あり時、J-XML 追加要望
14	受注伝票番号			Web：発注伝票番号
15	伝票作成年月日			
16	受注年月日			Web：受注確認年月日
	納品伝票情報			出荷結果を加味できた場合
17	納品伝票番号			Web：発注伝票番号
18	伝票作成年月日			
19	出荷年月日			Web：出荷確定年月日
	納品伝票合計情報			
20	売価金額合計			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
21	原価金額合計			
22	納品数量合計			
23	税額合計			
	納品伝票コメント			
24	コメントタイトル	×		
25	コメント内容	×		
	受領伝票情報			Jedicos-XML に追加を要望
26	受領伝票番号			Web：発注伝票番号
27	伝票作成年月日			
28	受領年月日			Web：入荷確定年月日
	結果			
29	結果コード			
30	結果コメント	×		
	受領伝票合計情報			
31	売価金額合計			
32	原価金額合計			
33	受領数量合計			
34	税額合計			
	買掛情報			
35	締年月日			
	受領伝票コメント			
36	コメントタイトル	×		
37	コメント内容	×		
	管理番号情報			
38	受注管理番号	×		
39	受領番号	×		
	伝票区分情報			Web：発注データを継承
40	伝票区分			
41	発注入力識別			
42	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
43	仕入区分			Jedicos-XML に追加を要望
44	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
	店舗情報			
45	店舗コード			既存システム：振分リスト使用時不用

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
46	店舗コードタイプ			
47	店舗コード名称			
	納品先情報			Web：発注データを継承
48	納品先コード			
49	納品先コードタイプ			
50	納品先コード名称			
	伝票明細			
	発注伝票明細			
51	発注伝票行番号			
	商品記述			
52	商品コード			
53	(商品コードタイプ)			
	原価情報			
54	原単価			
55	原価算出区分			
56	原価率			
	売価情報			
57	売単価			
	税率			
58	税率			
59	(税区分)			
	発注数量情報			
60	発注数量			
61	発注単位数			
62	発注単位入数			
	受注伝票明細			受注回答あり時、J-XML 追加要望
63	受注伝票行番号			Web：発注伝票行番号
	受注数量情報			
64	受注数量			論理在庫から受注数量をセット
	受注欠品情報			
65	欠品区分			欠品事由
	納品伝票明細			出荷結果を加味できた場合
66	納品伝票行番号			Web：発注伝票行番号

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	納品数量情報			
67	納品数量			出荷数量
	納品欠品情報			
68	欠品区分			欠品事由
	受領伝票明細			Jedicos-XML に追加を要望
69	受領伝票行番号			
	受領数量情報			
70	受領数量			Web: 入荷確定数
	受領欠品情報			
71	欠品区分			

6.6.2 入荷結果振分けデータ

表 6.1 2 入荷結果振分けデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	発注伝票情報			
1	発注伝票番号	×		
2	発注年月日	×		
	発注伝票明細情報			
3	発注伝票行番号	×		
	振分け情報			
4	プロファイル ID	×		
	振分け先情報			
5	振分け先 ID	×		
6	数量	×		

入荷結果振分けデータを使用する場合は、欠品発生はないものとする。
 入荷結果データと入荷結果振分けデータの紐付けは、ここでは既定
 しないが、具体的には以下のような方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1 つの CSV 形式で表現

- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

6.7 入出荷結果変換データ

6.7.1 入出荷結果変換データ

表 6.13 入出荷結果変換データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	梱包情報			
5	カゴ車 NO	×		
	出荷梱包情報			
6	出荷個口数			
7	出荷総梱数			
	入荷梱包情報			
8	入荷個口数			
9	入荷総梱数			
	梱包明細情報			
10	梱包番号			
	伝票処理情報			
11	アクション要求コード			
	発注伝票情報			
12	発注伝票番号			
13	伝票作成年月日			
14	発注年月日			
15	納品指定年月日			
	受注伝票情報			受注回答あり時、J-XML 追加要望
16	受注伝票番号			Web：発注伝票番号
17	伝票作成年月日			
18	受注年月日			Web：受注確認年月日
	納品伝票情報			出荷結果を加味できた場合のみ
19	納品伝票番号			Web：発注伝票番号

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
20	伝票作成年月日			
21	出荷年月日			Web：出荷確定年月日
	納品伝票合計情報			
22	売価金額合計			
23	原価金額合計			
24	納品数量合計			
25	税額合計			
	納品伝票コメント			
26	コメントタイトル	×		
27	コメント内容	×		
	受領伝票情報			入荷結果加味時、J-XML 追加要望
28	受領伝票番号			Web：発注伝票番号
29	伝票作成年月日			
30	受領年月日			Web：入荷確定年月日
	結果			
31	結果コード			
32	結果コメント	×		
	受領伝票合計情報			
33	売価金額合計			
34	原価金額合計			
35	受領数量合計			
36	税額合計			
	買掛情報			
37	締年月日			
	受領伝票コメント			
38	コメントタイトル	×		
39	コメント内容	×		
	管理番号			
40	発注管理番号	×		
41	受注管理番号	×		
42	受領番号	×		
	伝票区分情報			Web：発注データを継承
45	伝票区分			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
46	発注入力識別			
47	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
48	仕入区分	×		Jedicos-XML に追加を要望
49	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
50	本部集計コード	×		
51	本部集計名称	×		
	店舗情報			
52	店舗コード			既存システム：振分リスト使用時不用
53	店舗コードタイプ			
	納品先情報			Web：発注データを継承
54	納品先コード			
55	納品先コードタイプ			
	伝票明細			
	発注伝票明細			
56	発注伝票行番号			
	商品記述			
57	商品コード			
58	(商品コードタイプ)			
	原価情報			
59	原単価			
60	原価算出区分			
61	原価率			
	売価情報			
62	売単価			
	税率			
63	税率			
64	(税区分)			
	発注数量情報			
65	発注数量			
66	発注単位数			
67	発注単位入数			
	受注伝票明細			受注回答あり時、J-XML 追加要望
68	受注伝票行番号			Web：発注伝票行番号

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	受注数量情報			
69	受注数量			論理在庫から受注数量をセット
	受注欠品情報			
70	欠品区分			欠品事由
	納品伝票明細			出荷結果を加味できた場合
71	納品伝票行番号			Web：発注伝票行番号
	納品数量情報			
72	納品数量			出荷数量
	納品欠品情報			
73	欠品区分			欠品事由
	受領伝票明細			入荷結果加味時、J-XML 追加要望
74	受領伝票行番号			
	受領数量情報			
75	受領数量			
	受領欠品情報			
76	欠品区分			

6.7.2 入出荷結果変換振分けデータ

表 6.14 入出荷結果変換振分けデータ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	発注伝票情報			
1	発注伝票番号	×		
2	発注年月日	×		
	発注伝票明細情報			
3	発注伝票行番号	×		
	振分け情報			
4	プロファイル ID	×		
	振分け先情報			
5	振分け先 ID	×		

項番	データ項目		Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
6		数量	x		

入出荷結果変換振分けデータを使用する場合は、欠品発生はないものとする。

入出荷結果変換データと入出荷結果変換振分けデータの紐付けは、ここでは既定しないが、具体的には以下のような方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1つのCSV形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

7. 決済業務サービスインタフェース

7.1 売上データ

表 7.1 売上データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	伝票処理情報			
5	アクション要求コード			
	納品伝票情報			
6	納品伝票番号			Web：発注伝票番号をセット
7	伝票作成年月日			Web：訂正入力日/その他伝票日付
8	出荷年月日			Web：出荷確定年月日をセット
	納品伝票合計情報			
9	売価金額合計			
10	原価金額合計			
11	納品数量合計			
12	税額合計			
	納品伝票コメント			
13	コメントタイトル			Web：その他伝票では事由に利用
14	コメント内容			Web：その他伝票では事由に利用
	発注伝票情報			
15	発注伝票番号			
16	発注年月日			
17	納品指定年月日			
	受注伝票情報			受注回答あり時、J-XML 追加要望
18	受注伝票番号			
19	伝票作成日			
20	受注年月日			
	管理番号情報			
21	発注管理番号	x		

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
22	受注管理番号	×		
	伝票区分情報			
23	伝票区分			
24	形態区分			Jedicos-XML に追加を要望
25	取引区分			Jedicos-XML に追加を要望
26	発注入力識別			Web 入力と既存入力の識別
27	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
28	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
	店舗情報			
29	店舗コード			
30	店舗コードタイプ			
	納品先情報			
31	納品先コード			
32	納品先コードタイプ			
33	納品先コード名称			
34	納品先名漢字			
35	納品先名カナ			
36	顧客名漢字	×		
37	顧客名カナ	×		
	連絡先			
38	連絡先タイプ	×		
39	連絡先番号	×		
	支払企業			
40	企業コード			
41	企業コードタイプ			
42	企業名漢字			
43	企業名カナ			
	売掛情報			
44	締年月日			
45	売上計上年月日			出荷確定(未計上)でも送信
46	請求予定年月日			
	伝票明細			Web：その他伝票は明細行なし
	納品伝票明細			
47	納品伝票行番号			Web：発注伝票行番号をセット

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	商品記述			
48	商品コード			
49	(商品コードタイプ)			
50	商品名漢字			
51	商品名カナ			
	原価情報			
52	原単価			
53	原価算出区分			
54	原価率			
	売価情報			
55	売単価			
	税率			
56	税率			
57	(税区分)			
	納品数量情報			
58	納品数量			
59	納品単位数	×		
	納品欠品情報			
60	欠品区分			
	発注伝票明細			
61	発注伝票行番号			
	発注数量情報			
62	発注数量			
63	発注単位数			
64	発注単位入数			
	受注伝票明細			受注回答あり時、J-XML 追加要望
65	受注伝票行番号	×		
	受注数量情報			
66	受注数量	×		
	受注欠品情報			
67	欠品区分	×		

伝票ヘッダ部と伝票明細部を 1 つの CSV 形式に統合するか 2 つの CSV データとして、インタフェースするかは、ここでは既定しないが、以下の方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1 つの CSV 形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2 つのデータ列のまま、インタフェース

7.2 仕入データ

表 7.2 仕入データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	伝票処理情報			
5	アクション要求コード			
	受領伝票情報			
6	受領伝票番号			Web：発注伝票番号
7	伝票作成年月日			Web：訂正入力日/その他伝票日付
8	受領年月日			Web：入荷確定日をセット
	受領伝票合計情報			
9	売価金額合計			
10	原価金額合計			
11	受領数量合計			
12	税額合計			
	受領伝票コメント			
13	コメントタイトル	×		Web：その他伝票では事由に利用
14	コメント内容	×		Web：その他伝票では事由に利用
	発注伝票情報			
15	発注伝票番号			
16	発注年月日			
17	納品指定年月日			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	受注伝票情報			受注回答あり時、J-XML 追加要望
18	受注伝票番号			Web：発注伝票番号
19	伝票作成日			
20	受注年月日			
	納品伝票情報			出荷結果を加味できた場合
21	納品伝票番号			
22	伝票作成日			
23	出荷年月日			Web: 出荷確定年月日
	管理番号情報			
24	発注管理番号	×		
25	受注管理番号	×		
26	受領番号	×		
	伝票区分情報			
27	伝票区分			
28	形態区分			Jedicos-XML に追加を要望
29	取引区分			Jedicos-XML に追加を要望
30	発注入力識別			Web 入力と既存入力の識別
31	便区分			Jedicos-XML に追加を要望
32	仕入原価区分			Jedicos-XML に追加を要望
	納品先情報			Web: 発注データを継承
33	納品先コード			
34	納品先コードタイプ			
35	納品先コード名称			
36	納品先名漢字			
37	納品先名カナ			
38	顧客名漢字	×		
39	顧客名カナ	×		
	連絡先			
40	連絡先タイプ	×		
41	連絡先番号	×		
	店舗情報			
42	店舗コード			
43	店舗コードタイプ			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	支払企業			
44	企業コード			
45	企業コードタイプ			
46	企業名漢字			
47	企業名カナ			
	買掛情報			
48	締年月日			
49	仕入計上年月日			入荷確定(未計上)でも送信
50	支払予定年月日			
	受領伝票明細			Web：その他伝票は明細行なし
	受領伝票明細			
51	受領伝票行番号			Web：発注伝票行番号をセット
	商品記述			
52	商品コード			
53	(商品コードタイプ)			
54	商品名漢字			
55	商品名カナ			
	原価情報			
56	原単価			
57	原価算出区分			
58	原価率			
	売価情報			
59	売単価			
	税率			
60	税率			
61	(税区分)			
	受領数量情報			
62	受領数量			
63	受領単位数	×		発注単位数と同じ
	受領欠品情報			
64	欠品区分			欠品事由
	発注伝票明細			
65	発注伝票行番号			
	発注数量情報			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
66	発注数量			
67	発注単位数			
68	発注単位入数			
	受注伝票明細			
69	受注伝票行番号	×		
	受注数量情報			
70	受注数量	×		
71	受注単位数	×		
	受領欠品情報			
72	欠品区分	×		
	納品伝票明細			
73	納品伝票行番号	×		
	納品数量情報			
74	納品数量	×		
75	納品単位数	×		
	納品欠品情報			
76	欠品区分	×		

伝票ヘッダ部と伝票明細部を 1 つの CSV 形式に統合するか 2 つの CSV データとして、インタフェースするかは、ここでは既定しないが、以下の方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1 つの CSV 形式で表現
- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2 つのデータ列のまま、インタフェース

7.3 請求予定データ / 請求確定データ

表 7.3 請求予定データ / 請求確定データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	請求データヘッダ			
5	請求書番号			
6	対象期間自			
7	対象期間至			
8	締年月日			
9	支払年月日			Jedicos-XML に追加を要望
10	支払方法			Jedicos-XML に追加を要望
11	請求区分			
12	ステータス			請求予定 / 請求確定の区分 Jedicos-XML に追加を要望
	請求データコメント			
13	コメントタイトル	×		Jedicos-XML に追加を要望
14	コメント内容	×		Jedicos-XML に追加を要望
	請求企業			
15	企業コード			
16	企業コードタイプ			
17	企業名漢字			
18	企業名カナ			
	部署情報			
19	部署コード	×		
20	部署コードタイプ	×		
21	部署コード名称	×		
22	部署名漢字	×		
23	部署名カナ	×		
	担当者			
24	担当者 ID	×		
25	担当者名漢字	×		

項番	データ項目		Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
26		担当者名カナ	×		
		連絡先			
27		連絡先タイプ	×		
28		連絡先番号	×		
		支払企業			
29		企業コード			
30		企業コードタイプ			
31		企業名漢字			
32		企業名カナ			
		部署情報			
33		部署コード			
34		部署コードタイプ			
35		部署コード名称			
36		部署名漢字			
37		部署名カナ			
		担当者			
38		担当者 ID			
39		担当者名漢字			
40		担当者名カナ			
		連絡先			
41		連絡先タイプ			
42		連絡先番号			
		振込先銀行			
43		コード			
44		口座番号			
45		口座名称カナ			
46		口座名称漢字			
47		口座種別			
48		銀行名カナ			
49		銀行名漢字			
50		支店コード			Jedicos-XML に追加を要望
51		支店名漢字			Jedicos-XML に追加を要望
52		支店名カナ			Jedicos-XML に追加を要望
		サマリ情報			
53		伝票枚数			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
54	支払金額合計			
55	請求金額合計			
56	税額合計			
	サマリ付帯情報			
57	前回請求金額			Jedicos-XML に追加を要望
58	前回相殺金額			Jedicos-XML に追加を要望
59	前回支払金額			Jedicos-XML に追加を要望
60	今回繰越金額			Jedicos-XML に追加を要望
61	今回特別調整金額			Jedicos-XML に追加を要望
62	差引金額合計			Jedicos-XML に追加を要望
63	売掛計上金額			Jedicos-XML に追加を要望
64	前回繰越			Jedicos-XML に追加を要望
	当月取引額			
65	納品取引額			Jedicos-XML に追加を要望
66	値引取引額			Jedicos-XML に追加を要望
67	返品取引額			Jedicos-XML に追加を要望
68	非課税取引額			Jedicos-XML に追加を要望
69	税額			Jedicos-XML に追加を要望
70	税率			Jedicos-XML に追加を要望
71	(税区分)			Jedicos-XML に追加を要望
	請求データ明細			
	伝票情報			
72	発注伝票番号			Web : 発注伝票番号ベース
73	原価金額合計			
74	売価金額合計			
75	伝票金額合計			
76	支払金額			
77	税額			
78	税率			
79	(税区分)			
80	発注年月日			
81	納品年月日			
	伝票コメント			
82	コメントタイトル			Web : その他伝票時

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
83	コメント内容			
	管理番号・関連伝票番号			
84	受注管理番号	×		
85	受注伝票番号	×		
86	納品伝票番号	×		
87	受領伝票番号	×		Jedicos-XML に追加を要望
88	訂正関連伝票番号	×		
	請求データ区分情報			
89	伝票区分			Jedicos-XML に追加を要望
90	運賃区分			Jedicos-XML に追加を要望
91	形態区分			Jedicos-XML に追加を要望
92	支払理由区分			Jedicos-XML に追加を要望
93	取引区分			Jedicos-XML に追加を要望
94	相殺区分			Jedicos-XML に追加を要望
95	マッチ区分			Jedicos-XML に追加を要望
96	返品理由区分			Jedicos-XML に追加を要望
	店舗情報			
97	店舗コード			既存：センタ納品を考慮
98	店舗名漢字			
99	店舗名カナ			
100	売場コード	×		
	納品先情報			
101	納品先コード			
102	納品先コードタイプ			
103	納品先コード名称			
104	納品先名漢字			
105	納品先名カナ			
106	顧客名漢字	×		
107	顧客名カナ	×		

請求データヘッダと請求データ明細を 1 つの CSV 形式に統合するか
2 つの CSV データとして、インタフェースするかは、ここでは既定しないが、以下の方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1 つの CSV 形式で表現

- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース

7.4 支払予定データ / 支払確定データ

表 7.4 支払予定データ / 支払確定データ

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
	企業識別情報			
1	発注企業コード			
2	企業コードタイプ			
3	受注企業コード			
4	企業コードタイプ			
	支払案内ヘッダ			
5	支払案内番号			
6	対象期間自			
7	対象期間至			
8	締年月日			
9	支払年月日			
10	支払方法			
11	支払区分			
12	ステータス			支払予定 / 支払確定の区分 Jedicos-XML に追加を要望
	支払案内コメント			
13	コメントタイトル	×		
14	コメント内容	×		
	請求企業			
15	企業コード			
16	企業コードタイプ			
17	企業名漢字			
18	企業名カナ			
	部署情報			
19	部署コード	×		
20	部署コードタイプ	×		
21	部署コード名称	×		
22	部署名漢字	×		
23	部署名カナ	×		
	担当者			
24	担当者 ID	×		
25	担当者名漢字	×		

項番	データ項目		Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
26		担当者名カナ	×		
		連絡先			
27		連絡先タイプ	×		
28		連絡先番号	×		
		支払側企業			
29		企業コード			
30		企業コードタイプ			
31		企業名漢字			
32		企業名カナ			
		部署情報			
33		部署コード			
34		部署コードタイプ			
35		部署コード名称			
36		部署名漢字			
37		部署名カナ			
		担当者			
38		担当者 ID			
39		担当者名漢字			
40		担当者名カナ			
		連絡先			
41		連絡先タイプ			
42		連絡先番号			
		振込先銀行			
43		コード			
44		口座番号			
45		口座名称カナ			
46		口座名称漢字			
47		口座種別			
48		銀行名カナ			
49		銀行名漢字			
50		支店コード			Jedicos-XML に追加を要望
51		支店名漢字			Jedicos-XML に追加を要望
52		支店名カナ			Jedicos-XML に追加を要望
		サマリ情報			
53		伝票枚数			

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
54	支払金額合計			
55	請求金額合計			請求ありの場合セット
56	税額合計			
	サマリ付帯情報			
57	前回請求金額			
58	前回相殺金額			
59	前回支払金額			
60	今回繰越金額			
61	今回特別調整金額			
62	差引金額合計			
63	買掛計上金額			
64	前回繰越			
	当月取引額			
65	納品取引額			
66	値引取引額			
67	返品取引額			
68	非課税取引額			
69	税額			
70	税率			
71	(税区分)			
	支払案内明細			
	伝票情報			
72	発注伝票番号			納品伝票ベースもあり
73	原価金額合計			
74	売価金額合計			
75	伝票金額合計			
76	支払金額			
77	税額			
78	税率			
79	(税区分)			
80	発注年月日			
81	検収年月日			
	伝票コメント			
82	コメントタイトル			Web : その他伝票時

項番	データ項目	Web 業務 I/F 項目	既存システム I/F 推奨項目	備考
83	コメント内容			
	管理番号・関連伝票番号			
84	発注管理番号	×		
85	受領番号	×		
86	納品伝票番号	×		
87	受領伝票番号	×		Jedicos-XML に追加を要望
88	訂正関連伝票番号	×		
	支払案内区分情報			
89	伝票区分			
90	運賃区分			
91	形態区分			
92	支払理由区分			
93	取引区分			
94	相殺区分			
95	マッチ区分			
96	返品理由区分			
	店舗情報			
97	店舗コード			既存：センタ納品を考慮
98	店舗名漢字			
99	店舗名カナ			
100	売場コード	×		
	納品先情報			
101	納品先コード			
102	納品先コードタイプ			
103	納品先コード名称			
104	納品先名漢字			
105	納品先名カナ			
106	顧客名漢字	×		
107	顧客名カナ	×		

支払案内ヘッダと支払案内明細を 1 つの CSV 形式に統合するか
2 つの CSV データとして、インタフェースするかは、ここでは既定
しないが、以下の方法が考えられる。

- レコードタイプを設けて、1 つの CSV 形式で表現

- 冗長にはなるが、ヘッダにあるデータ項目を極力減らし、全レコードにヘッダ部と明細部を組み込む
- 2つのデータ列のまま、インタフェース